

学校推薦型選抜 解答例 令和6年度

小論文

問1 コンピュータでテキストを入力する方法として、音声入力とキーボード入力挙げられる。音声入力と比べて、キーボード入力は利用者がキーの配列を覚えたり、キーボードの機能について把握したりと、ある程度の「慣れ」が求められるという問題があるにも関わらず、幅広く利用されている。

その理由はなぜだと考えるか、具体的にキーボード入力の方が音声入力より便利であると思われる場面を挙げて、あなたの考えを論ぜよ。解答用紙の【解答欄 問1】の四角で囲まれた領域内に解答せよ。同領域外への解答を禁止する。また、図等を用いた説明も可とする。

ただし、音声入力とは、利用者1名が話した言葉を自動的に書き起こして入力する入力方法であるとする。また、キーボード入力とは、キーボードと呼ばれる複数のキーが配列された装置で、キーを打って入力する入力方法であるとする。また、音声入力については、複数人が同時に話す環境下では誤入力を起こすことがあるものとする。

(出題意図)

出題者は2つの入力方法を提示し、解答者にキーボード入力の方が音声入力より便利であると思われる場面を想定させたうえで、キーボード入力の方が幅広く利用されている理由について論じさせる。適切に論じることができているかどうか、論理的思考力と文章構成力をみる。

(採点のポイント)

キーボード入力の方が音声入力より便利であると思われる場面を具体的に想定しているかどうか。キーボード入力が幅広く利用されている理由について、適切で妥当な考察ができているかどうか。

キーボード入力が幅広く利用されている理由について、簡潔に書かれているかどうか。理論的で説得力のある構成となっているかどうか。

問2 複数の児童・生徒の意見をくみ上げて児童・生徒同士で議論する参加型の授業において、音声入力とキーボード入力をどのように使い分けると、意見のくみ上げや議論に必要な情報提供を行うために効率的だと考えるか、学校で受けてきた授業の体験をもとに、800字以内(句読点等を含む)で論ぜよ。ただし、全ての児童・生徒に一人一台、音声入力もキーボード入力も可能な端末が配付されており、端末は各児童・生徒の自宅に持ち帰ることが可能とする。また、授業は一回で完結するものだけではなく、複数回を要するものを想定してもよく、自宅等で作業する課題も想定してよいものとする。児童・生徒としての視点に立った内容でよい(教育的な効果について言及せずともよい)。解答用紙の【解答欄 問2】の原稿用紙部分に解答せよ。

(出題意図)

出題者は、児童・生徒が意見や議論を行う授業において、解答者に実際に受けてきた授業の体験をもとに、適切な入力方式の使い分けについて800字以内(句読点等を含む)でまとめさせる。例えば、自宅で音声入力を用いて端末に意見の草稿を入力し、それを授業の場で、キーボード入力を用いて修正し、他の児童・生徒との議論や発表に用いる、といった例が挙げられる。

端末の活用方法を考え、適切にまとめることができているかどうか、論理的思考力と文章構成力をみることが、この問題の出題意図である。

(採点のポイント)

どちらの入力方法をどのように用いれば役立つのかについて、具体的に想定されているかどうか。適切な入力方式の使い分けについて考えることができているかどうか。

適切な入力方式の使い分けについて、簡潔に書かれているかどうか。指定の字数が守られているかどうか。理論的で説得力のある構成となっているかどうか。